



さくら

心豊かに
かしこく
たくましく

砥用小
学校だより
R5. 3. 22
文責 河野



いよいよ最終の週となりました！

「光陰矢の如し」と言いますが、月日の経つのは早いものです。穏やかな春の陽ざしもふりそそぎ、校庭の桜の花も咲き始め、あっという間の一年間でした。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、この数年試行錯誤をしながらの教育活動でした。はじめは、ほとんどの行事等が中止となっていました。やがて学びを止めないという思いで、例年行っていたものをいろいろな工夫を行いながら実施してきました。予期せぬ出来事にどのようにして対応していくか、その想像力や柔軟性が試されていたのかもしれませんが、そして、このことは、教職員だけではなく、子供たちも同じです。行事等において、一緒に対策を考えながら実施してきました。

さて、いよいよ23日(木)は卒業式です。また、24日(金)は1～5年生の修了式となります。子供たちの通知表を事前に見ました。それぞれに成長があり、とても嬉しく思いました。4月からは6年生は中学生、そして1～5年生は学年が一つ上がります。この春休みに目標をしっかりと立て、次の学年をスタートしてほしいと思います。子供たちの今後の活躍を期待しています。

6年生 フランター寄贈

3月15日(水)に、6年生が制作した花のプランターを町商工会に寄贈しました。これは、未来の町を描く学習の一環で、地域のために自分たちにできることをそれぞれが考えました。その一つに「自分たちで作ったプランターを置いて、子供たちや町の人が集まる場所をつくりたい」という思いから行われたものです。宇城地域振興局林務課の方々や保護者のご協力のもと、少しずつ作り上げてきました。個性あふれるプランターは、砥用庁舎や商工会など、町内5か所に設置される予定です。

一旦、卒業式の日には体育館フロアに置きますので、ご覧ください。



地域の方々にも支えられ…

これまで、保護者や地域の方々の温かい声かけや様々な教育活動への参加など、たいへんお世話になりました。おかげさまで、新型コロナウイルスの影響が長引く中でしたが、ご理解とご協力により、少しずつ例年行っていた教育活動が実施できました。

右の写真は、雨の日も、雪の日も、ほとんど毎日の交通指導により、子供たちを見守っていただいている地域の方です。また、16日には、JA砥用地区助け合いの方々から花のプランターが送られました。地域の方々にも深く感謝します。



地域の方の交通指導



J A砥用地区助け合いの会から

落ち着いた学校生活…

前回、生活のことについて話題にしました。下の写真は、その後のトイレのスリッパの様子です。

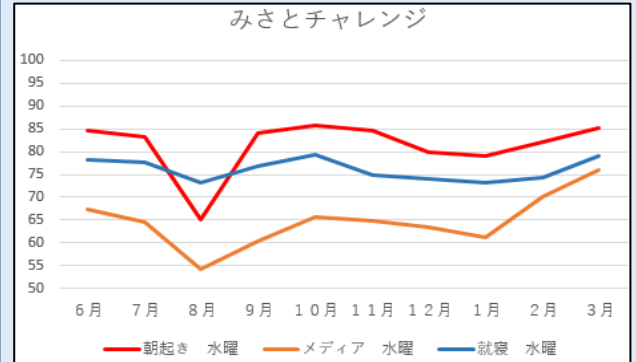
各教室で担任からの話もあったと思いますが、見事に並んでいました。後の人のことを考えて、膝について丁寧に並べていた低学年の人もありました。とても素直な子供たちです。砥用小学校のよさをひしひしと感じます。



低学年

高学年

みさとチャレンジ



みさとチャレンジは、「早寝・早起き・朝ごはん」等基本的な生活習慣を見直すためのものです。朝食の摂取は、どの月も100%でした。メディア関係については、ルール等再度ご家庭で話し合わせてください。